

# なんとかせんと!! 南都

# コラボ



◀ N隊 ▶

南和圏域マネージャー	喜多 学志(GL)
こだまの里	千葉 貴之
コッペ大淀・みんなの広場	中辻 安余
吉野学園	安川 都美
生活相談センターのどか	下谷 昇
〃	松村 百恵

『南和は、広域でつながりがない...』

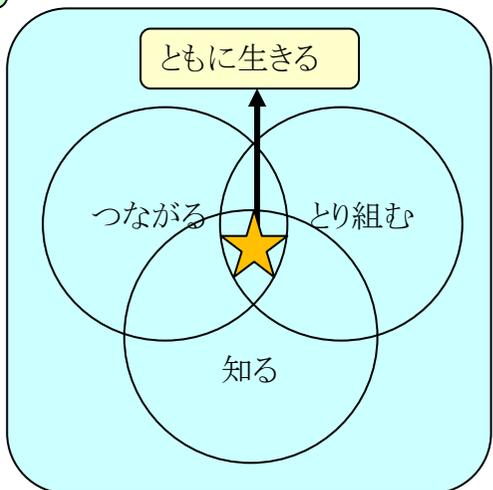
もっとポジティブに!!



『発想を広げて、距離を縮めよう』

## ～地域の資源の点検～

新しい資源をつくり出そうではなく、  
もっと使えるように  
[みなおす・つくりかえる・とりいれる]  
という考え。



何からやっていけばいいのか...。  
できることから、やればいい!!  
まずは、お互いを知るところから☆

Nは“南和ツーカー”の略。『ツーカーな関係づくり』と『地域通貨(ツーカー)の実現』の思いが込められています。

情報発信を発端に[知る、つながる、とりにくむ]のサイクルで、今ある資源を[とりいれる、みなおす、つくりかえる]ことで、地域力の向上をめざす。さまざまなとりにくみを経て、将来的にはより地域で障害福祉の距離が縮まるシステムづくりにつなげる。

## 将来 『地域通貨』

地域通貨は、地域の活性化や再生を担う補完通貨として導入され運営されています。

日本でも、40都道府県で100以上の地域通貨が存在するといえます。

おカネは経済や社会の発展に貢献してきましたが、地域通貨は地域やコミュニティに特有の資源を、地域通貨を使って掘り起こし、活用することができます。

- ねらい...
- ◆ 支え合いのきっかけづくり
  - ◆ 福祉をもっと身近なものに
  - ◆ 気軽に「手伝って」が言える
  - ◆ 気軽に「手伝う」が言える
  - ◆ 「手伝って」、「手伝う」の両方ができる
  - ◆ 地域が盛り上がる



## 当面 『南和地域への情報発信』

方法...『圏域情報のリニューアル』

毎月発行される圏域情報に、新たにページを開設し、2カ月に1回内容を更新していく。2カ月に1~2回集まり、内容検討・役割分担等を行う。

ツール... ◆ ホームページ

◆ 回覧版への掲示(将来的に)

新たな内容... ◆ 事業所紹介、“きりりッ”な人の紹介など  
◆ 他地域(県内外問わず)の“いいッ”を紹介  
◆ 療育コーディネーターのぼやき

周知方法... ◆ 圏域情報のリニューアルを南和の市町村、事業所などの関係機関にお知らせする。

◆ N隊が圏域情報もって、各市町村窓口においてもらうようお願いする。(つながるきっかけになる)

効果... ◆ 障害福祉に限定しないことで、もっと地域を知ることができる。(見込み) ◆ 知ってもらうことで、障害福祉がもっと身近なものになる。  
◆ 協力者が増えて、大きな取り組みに展開できる。  
◆ 将来的に当事者の仕事が生み出される。(取材、編集、PRの仕事)